

東京都支部参加応募票

JRC/RCY International Meeting, “Tokyo 2023” 参加者調書  
(青少年赤十字メンバー用)

東京都支部

※ 令和5年11月23日(木)時点の内容(見込)をご記入ください。

ふりがな

氏名 \_\_\_\_\_ (男・女) ※

※上記区分よらない場合は、  
事前に個別に相談すること。

写真 (40mm×30mm)

2枚準備し、裏面に都道府  
県名・学校名・氏名を記入  
する。

1枚はここにのり付け。

1枚はクリップ留め。

生年月日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 \_\_\_\_\_ 歳

現住所 〒 \_\_\_\_\_

電話番号(自宅) \_\_\_\_\_

緊急時の連絡先

ふりがな

名 前 \_\_\_\_\_ 本人との関係 \_\_\_\_\_

連絡先電話番号 \_\_\_\_\_ (自宅・勤務先)

\_\_\_\_\_ (携帯電話)

学校名

(国・都・道・府・県・市・私立)

ふりがな

\_\_\_\_\_ 高等学校 \_\_\_\_\_ 科 \_\_\_\_\_ 年

学校所在地 〒 \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_ 電話番号 \_\_\_\_\_

[所属する学校の青少年赤十字について]

- メンバー数  
\_\_\_\_\_人
- 加盟の形態（いずれかに○をつけてください）  
部活動 ・ 同好会 ・ 生徒会 ・ 全校 ・ 学級 ・ その他（ \_\_\_\_\_ ）
- 活動の種類・内容（できるだけ詳しく）

[本人の青少年赤十字に関する事項]

- 役職名  
（支部協議会での役職）\_\_\_\_\_（所属校での役職）\_\_\_\_\_
- 青少年赤十字経験年数  
小学校\_\_\_\_\_年間      中学校\_\_\_\_\_年間      高校\_\_\_\_\_年間
- トレーニング・センター / スタディー・センター 受講歴（あれば記入）  
令和 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月に \_\_\_\_\_ 日間（本社・支部・地区・校内）（トレセン・スタセン）  
令和 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月に \_\_\_\_\_ 日間（本社・支部・地区・校内）（トレセン・スタセン）
- JRC ワークショップ×チャレンジ 受講歴（該当に○をつけてください。複数選択可）  
（ 令和4年度修了 ・ 令和5年度修了見込み ・ 受講歴なし ）
- 所属支部、他団体等による国際交流プログラムへの参加歴

[本人について]

- 得意な教科 \_\_\_\_\_ ● 所属クラブ \_\_\_\_\_
- 趣味
- 特技

- 語学力について（資格等を記入。英語以外にもあれば記入すること）

- JRC/RCY International Meeting, “Tokyo 2023” への意気込みや目標

- テーマの希望について

本集会のテーマは「持続可能な未来に向けた青少年赤十字メンバーの取り組み」ですが、本テーマの下、「気候変動」「平和教育」の2つが設けられています。メンバーは自分の興味のあるグループに所属し、各テーマに関して具体的なディスカッションを行うことになります。

①「気候変動」

②「平和教育」

2つの中のどのテーマに所属したいか、以下に記載してください。

第1希望：

第2希望：

- 第1希望のテーマに関して、あなたの興味・関心があること

● あなたの健康状態について

本集会は集団生活での3泊4日の宿泊研修です。特に考慮すべき既往症、アレルギーや現在治療中の病気等があれば、必ず書いてください。※ない場合は、「特になし」とご記入ください。

---

日本赤十字社では広報活動を行っています。資料（パンフレット他）、カレンダー等の印刷物やホームページに掲載するお写真を、年間を通して撮影しております。また、メディアからの取材を受け、参加者へインタビューする場合もございます。令和5年度青少年赤十字国際交流事業についても写真や動画撮影をする予定があります。出版物（教材）やメディア等への掲載について、ご理解・ご了承をいただきますようお願いいたします。ご承諾いただけます場合は、下記にご署名、ご押印をお願い申し上げます。

令和5年度青少年赤十字国際交流事業における写真撮影、及び日本赤十字社広報活動全般への写真掲載を承諾いたします。

参加者署名： \_\_\_\_\_ 印                      保護者署名： \_\_\_\_\_ 印

---

令和5年度青少年赤十字国際交流事業の参加にあたり、新型コロナウイルスやインフルエンザ等による体調不良や集団生活に支障をきたすなど、継続して研修を続けることが困難であると思われる場合は、参加者全員の安全面、運営面を第一に考え、日本赤十字社及び運営スタッフが協議したうえで、帰宅措置をとる場合があります。（その際は、当会場まで支部職員もしくは保護者の出迎えが必要となります。）

上記について理解し、令和5年度青少年赤十字国際交流事業の参加候補者として申し込みます。

保護者 \_\_\_\_\_ 印

学校長 \_\_\_\_\_ 印

（以下、支部にて記載。申込時、未記入のこと。）

支部事務局長 \_\_\_\_\_ 印

※ 本調書に記載された個人情報、本事業においてのみ使用いたします。